

サーバコントロールパネル設定参考資料

(メールサーバー編)

株式会社デジタルネットワークサポート

dnsip お客様サポート担当

目 次

メールサーバ編

メールユーザーの新規作成と受信アドレス設定	1
作成したメールユーザーのOutlookExpressへの設定例	1 1
作成したメールユーザーのMicrosoftOutlookへの設定例	1 7
作成したメールユーザーのOutlookへの設定例	2 1

※当冊子の内容は、弊社ホームページ上でも公開しております。
トップページ下部メニューの、「設定参考資料」をご参照ください。

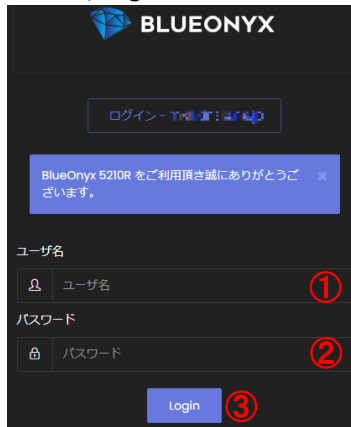
■ メールユーザーの新規作成と受信アドレス設定

メールサーバに新しいユーザーを作成し、受信するメールアドレスを設定する方法をご説明致します。

【1】コントロールパネルログイン画面へアクセス

「ご利用のご案内」のメール用サーバ情報に記載されております、管理画面URLへアクセスします。

例：https://mx10.example.com:81/login



- (1) メール用サーバ情報の管理用ユーザーID
- (2) メール用サーバ情報管理用ユーザーパスワード

以上の2つを入力し、ログインをクリックします。

【2】ユーザリストを選択

ログイン画面左側メニューの、「ユーザの管理」→「ユーザのリスト」を選択します。



【3】ユーザのリストで追加を選択

画面右側に、現在のユーザー一覧が表示されます。
初めてアクセスされた際は、管理用ユーザーのみ表示されています。

ユーザのリスト

[+](#) 追加 [ユーザのデフォルトを修正](#)

100 件表示 検索:

氏名	ユーザ名	電子メールエイリアス	サスペンドされているユーザ	与えられている権限	操作・削除
mailadmin			しない	<A> FTP Email	

1件中1から1まで表示 前 1 次

「追加」をクリックし、新規ユーザーの追加画面に移動します。

【4】新規ユーザ追加画面に必要事項を入力

氏名

ユーザ名
サイトPrefix :

ユーザ名

パスワード

このフィールドは必須です。

再度入力

このフィールドは必須です。

最大許容ディスク容量

(1M - 10.5G)

シェルアクセスを有効にする

ツーフaktorオーサー (2FA)

サイト管理者

DNS 管理者

電子メールを無効にする

電子メールエイリアス (省略可)

備考 (省略可)

ユーザ追加メニューの各項目を入力します

●氏名 <入力必須>

使用者の名前を入力します。
必ずしも本名である必要はありません。
ここで入力された内容は、ユーザリストの氏名欄に表示されます。

●ユーザ名 <入力必須>

ここで入力する内容が、サーバにアクセスする際のユーザ名 (ID) となります。
発行される ID は、「プレフィックス+入力された内容」となります。
前頁の例の場合、入力欄の上側に記載されている“aaa”とシステムが自動付加する“_”が
プレフィックス“aaa_”となります。

例：上記の例でユーザ名に“taro”と入力した場合、発行されるユーザ名 (ID) は
“aaa_taro”となります。

●パスワード <入力必須>

上下2つの欄に同じパスワードを入力します。
入力した内容は直接表示されず、*や●でマスキングされた状態で表示されます。(マスキングされる記号は、ご利用のブラウザにより異なります)
また、簡易なものや辞書に記載されているもの、ユーザ名から安易に想像可能なもの等は、システム上設定する事ができませんのでご注意ください。

●最大許容ディスク容量 <入力必須>

このユーザに割り当てるディスク容量を設定します。 例：100M、1.5G（半角英数字で）

●サイト管理者

通常はチェックしないで下さい。

●DNS管理者

通常はチェックしないで下さい。

●電子メールを無効にする

この項目にチェックしますと、そのユーザはメールを受信できなくなります。

●電子メールエイリアス

受信するメールアドレスの@から左側を入力します。

複数のアドレスで受信したい場合改行して入力します。（最後は改行しないでください）

例：受信アドレスを taro@example.com としたい場合、 taro と入力します。

ユーザ名とパスワードに利用可能な文字列には制限がありますご注意ください

利用可能な文字は以下の通りです

ユーザ名 半角英数字 a-z 0-9

記号 _ -（最後の1文字のみ\$も可能）

パスワード 半角英数字 A-Z a-z 0-9

記号 _ . ! # \$ % & ' () < >

が利用可能です

●記入例

氏名

総務部山口

ユーザ名

サイトPrefix :

aaa

ユーザ名

yamaguchi

この場合発行される接続IDはaaa_yamaguchiとなります

パスワード

.....

強力なパスワード。

.....

最大許容ディスク容量

1G

(1M - 10.5G)

シェルアクセスを有効にする

なし

ツーフaktorオーサー (2FA)



サイト管理者



DNS 管理者



電子メールを無効にする



電子メールエイリアス (省略可)

yamaguchi
somu

←最後は改行しないでください

備考 (省略可)

あなたが入力続ける、私は成長し続ける...

保存

キャンセル

入力が終わりましたら、保存をクリックします。
正常に完了した場合、ユーザー一覧に追加したユーザが表示されます。

ユーザのリスト

追加 ユーザのデフォルトを修正

100 件表示 検索:

氏名	ユーザ名	電子メールエイリアス	サスペンドされているユーザ	与えられている権限	操作・削除
mailadmin	aaa_mailadmin		しない	<A> FTP Email	
総務部山口	aaa_yamaguchi	yamaguchi, somu	しない	Email	

2件中1から2まで表示 前 1 次

【5】ログアウト

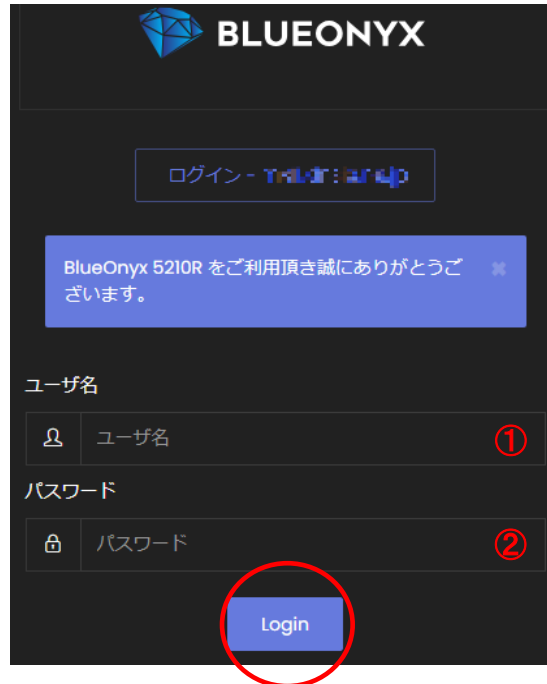
上部メニューのログアウトボタンをクリックし、管理画面からログアウトします。



以上で、サーバへの追加作業は完了です。
引き続き、実際にサーバへログイン可能か確認します。

【6】アクセス確認

メールサーバの管理画面にアクセスした後、【4】で設定したユーザ名（ID）、パスワードでログイン可能な事を確認します。



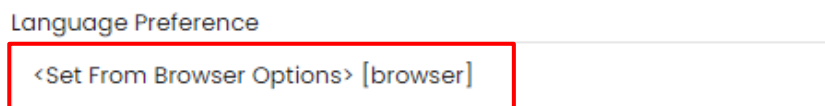
(1) 新しく作成したユーザ名（ID） ※本書の例の場合はaaa_yamaguchi

(2) 設定したパスワード

以上の2つを入力し、ログインをクリックします。



日本語以外の言語で表示された場合は、「LanguagePreference」を変更します。



Language Preference

Japanese (Japan) [ja_JP]

French (France) [fr_FR]

German (Germany) [de_DE]

Italian (Italy) [it_IT]

Japanese (Japan) [ja_JP]

Portuguese (Portugal) [pt_PT]

Spanish (Spain) [es_ES]

GUI Theme

Elmer

Appearance

Default

Style

Light

Color

Blue

Save

Cancel

プルダウンメニューから“Japanese (Japan) [ja_JP]”を選択し“Save”をクリックします。

個人プロフィール 個人プロフィール > 個人プロフィール

アカウント情報 - aaa_yamaguchi

氏名

総務部山口

言語設定

日本語(日本) [ja_JP]

新しいパスワード

パスワード

パスワードの強度試験

再度入力

日本語で表示されたら言語の変更は完了です。

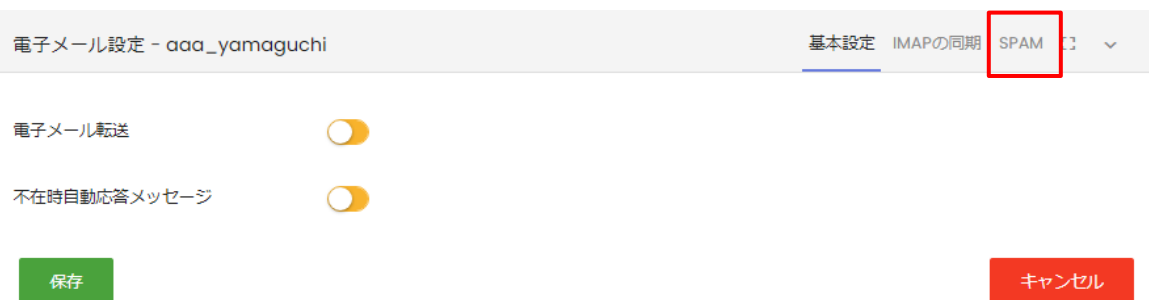
【5】迷惑メール設定

受信するメールの迷惑メール判定に関する設定を変更します。
標準設定で問題無い場合はこの設定は変更しなくても問題ありません。

サイドメニューから電子メールを選択します。



電子メールの設定画面が表示されたら「SPAM」を選択します。



各項目を必要に応じて変更します。

スパムサブジェクト識別子

****SPAM(_SCORE_)****

必要なスコア

5.00

からホワイトリスト(省略可)

あなたが入力続ける、私は成長し続ける。

からブラックリスト(省略可)

あなたが入力続ける、私は成長し続ける。

アジアの電子メール



英語以外の



SPAMアクション

- SPAM-フィルターは無効
- 配信が、迷惑メールとしてマークする
- 「caughtspam」をフォルダに移動
- サーバー上で迷惑メールを削除する

●必要なスコア

数字が小さいほどSPAM判定が厳しくなります。
実運用では5.0~8.0程度の間で運用するのが良いでしょう。

●ホワイトリスト

ここに記載したメールアドレスから送信されたメールはSPAM判定を回避します。
複数のアドレスを登録する場合は改行して登録してください。
ただし、最後の行は改行しないでください。

●ブックリスト

ここに記載したメールアドレスから送信されたメールは無条件でSPAM扱いとなります。
複数のアドレスを登録する場合は改行して登録してください。
ただし、最後の行は改行しないでください。

●アジアの電子メール

●英語以外の

英語圏以外の地域と送受信する場合はこちらの2つの項目はONにしてください。
英語以外の文字列が含まれた際にスコアが加算されるのを防ぎます。

設定の保存



キャンセル

画面を一番下までスクロールし保存を選択します。

【5】ログアウト

上部メニューのログアウトボタンをクリックし、管理画面からログアウトします。



以上で、サーバへのアクセス確認は終了です。

■ 設定したユーザのOutlookExpressへの設定例

メールサーバの管理画面で作成したユーザを、OutlookExpressへ設定する際の設定例を記載致します。

【参考資料】 OutlookExpressへの設定例

メールサーバの管理画面で作成したユーザを、OutlookExpressに追加する例を紹介致します
なお、この例は、以下の内容でユーザを作成したものの仮定して設定しています。

ユーザ名	aaa_user0001
パスワード	password
電子メールエイリアス	yamaguchi
メールアドレス	yamaguchi@example.com

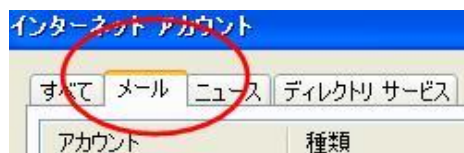
また、弊社から送付させて頂きましたご利用のご案内には、下記のメールサーバが記載されているものと仮定しています。

メールサーバ	受信 (POP)	mail.example.com
メールサーバ	送信 (SMTP)	mail.example.com

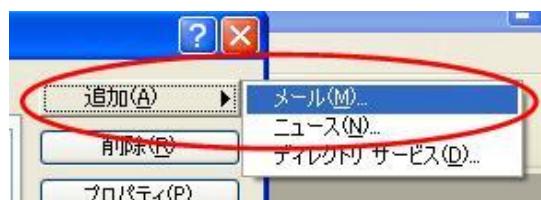
【1】 OutlookExpressを起動後、「ツール(T)」→「アカウント(A)」の順に選択します。



【2】 インターネットアカウント設定ウインドウが表示されたら、「メール」タブをクリックします。



【3】 右側の「追加(A)」→「メール(M)」の順番で選択します

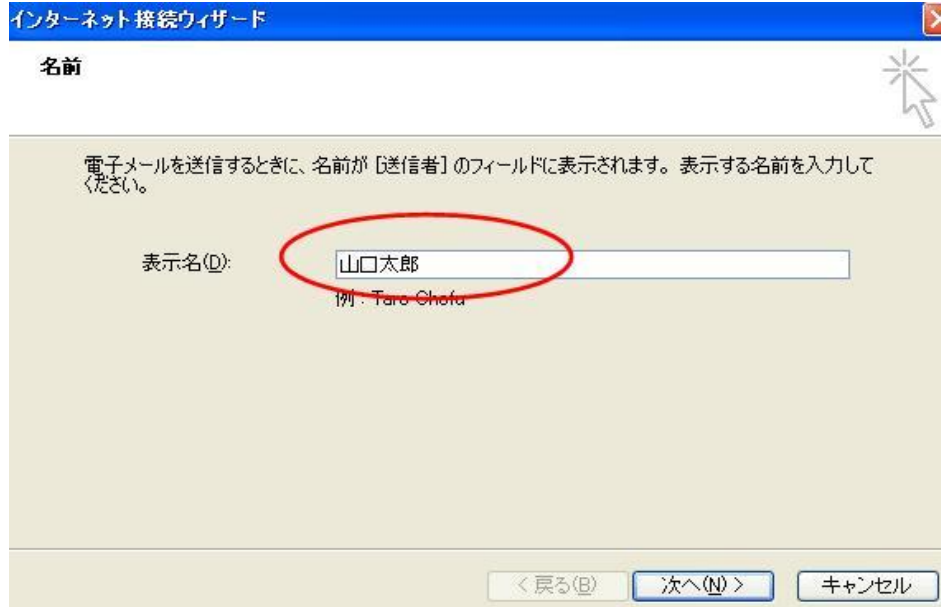


【4】インターネット接続ウィザードが表示されます

【4-1】

表示名欄に名前を登録します。ここに登録された内容が、送信先に送信者として表示されます。

日本語、英語どちらでも登録可能ですが、海外や日本語に対応していないソフトをご利用の方とメールをやりとりする場合、日本語で設定すると相手に表示される際、文字化けします。そのような場合は、半角英数字で設定してください。



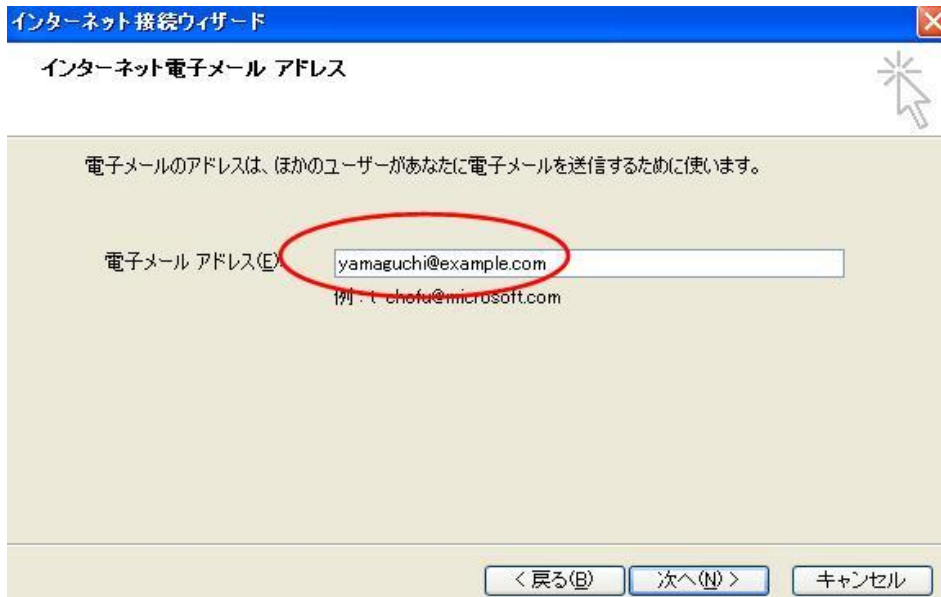
【4-2】

電子メールアドレス欄に、設定したメールアドレスを入力します。

この欄に登録する内容が、送信先に通知されるメールアドレスです。

なお、サーバに設定されていないアドレスを入力した場合、送信サーバで送信を拒否しますのでご注意ください。

入力後、「次へ (N)」をクリックします。



【4-3】

電子メールサーバーの設定を実施します。

「受信メール (POP3、IMAP または HTTP) サーバー (I)」に、ご利用のご案内の受信 (POP) 「送信メール (SMTP) サーバ (O)」に、ご利用のご案内の送信 (SMTP) を入力します。

送信、受信とも同じ内容になります。 受信メールサーバーの種類に関しましては、例ではPOP3を選択していますが、IMAPもご利用可能です。 どちらが良いかわからない場合は、POP3のまま設定してください。

設定したら、「次へ (N)」をクリックします。

インターネット接続ウィザード

電子メール サーバー名

受信メールサーバーの種類(S) POP3

受信メール (POP3、IMAP または HTTP) サーバー(O):
mailexample.com

SMTPサーバーは、電子メールを送信するときに使用するサーバーです。

送信メール (SMTP) サーバー(O):
mailexample.com

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

【4-4】

メールサーバに接続する際の、ユーザー名 (アカウント名)、パスワードを設定します。

コントロールパネルで作成した際のユーザー名を「アカウント名 (A)」に、パスワードを「パスワード (P)」に入力します。

入力したら、「次へ (N)」をクリックします。

インターネット接続ウィザード

インターネット メール ログイン

インターネット サービス プロバイダから提供されたアカウント名およびパスワードを入力してください。

アカウント名(A):
aaa_user0001

パスワード(P):

パスワードを保存する(W)

メール アカウントにアクセスするときに、インターネット サービス プロバイダがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を必要としている場合は [セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を使用する] をオンにしてください。

セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を使用する(S)

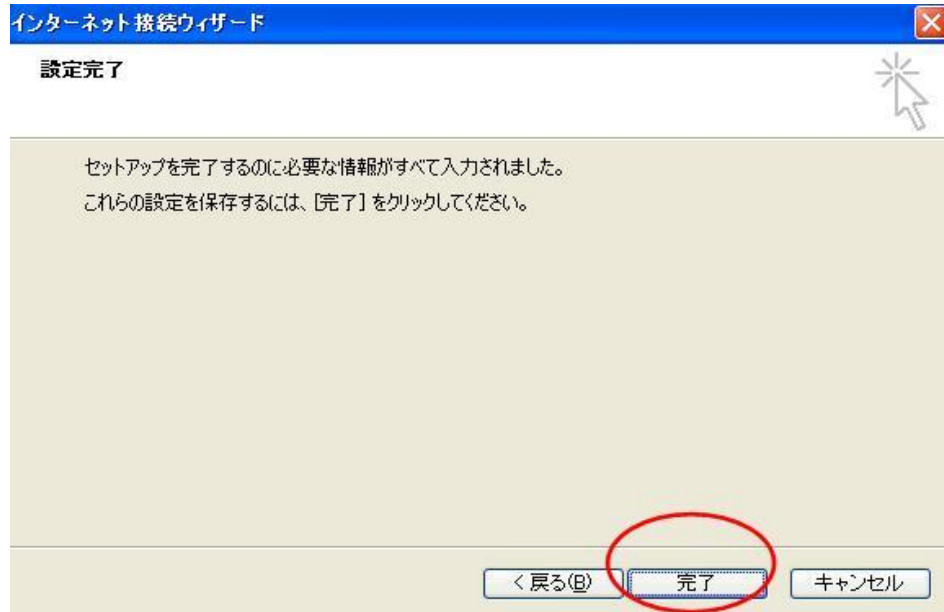
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

【4-5】

接続ウィザードによる設定が完了しました。

「完了」をクリックしますが、このままではメールを送信する事ができません。

引き続き、メールの送信設定を実施します。



- 【5】 上記で「完了」をクリックすると、インターネットアカウントウィンドウに戻りますので、アカウント欄の設定したアカウントを選択し、右側の「プロパティ (P)」をクリックします。

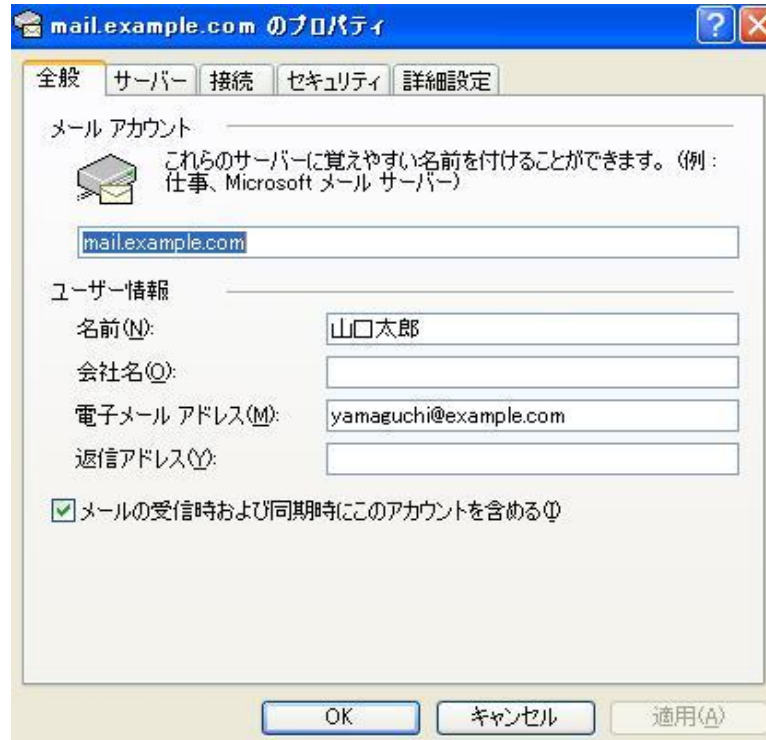


【5-1】

プロパティをクリックすると、設定した内容が表示されます。

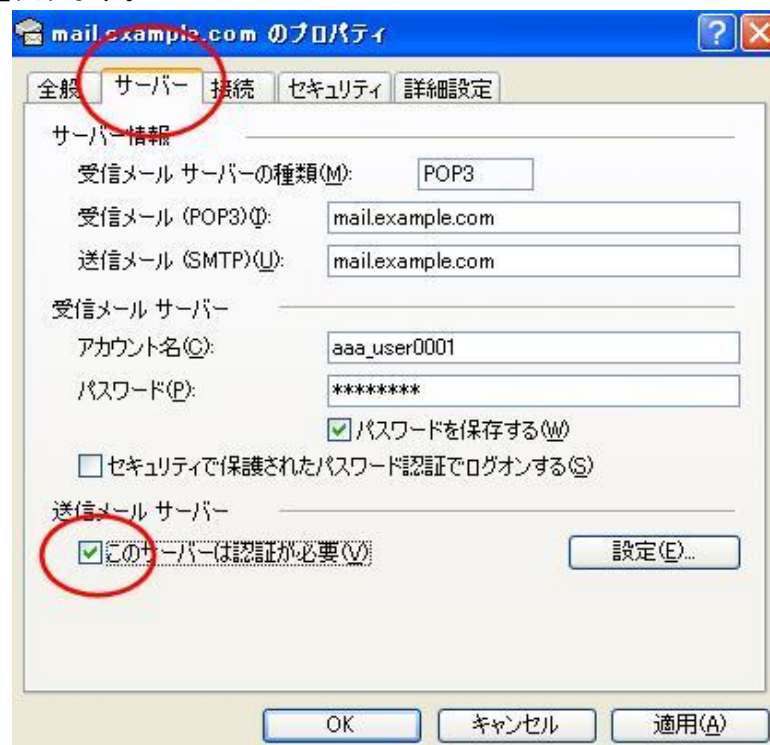
全般タブのメールアカウント欄は、任意に変更可能です。

ここに表示された内容が、送受信の時の一覧や、アカウントウィンドウに表示される名前となりますので、必要があれば変更してください。



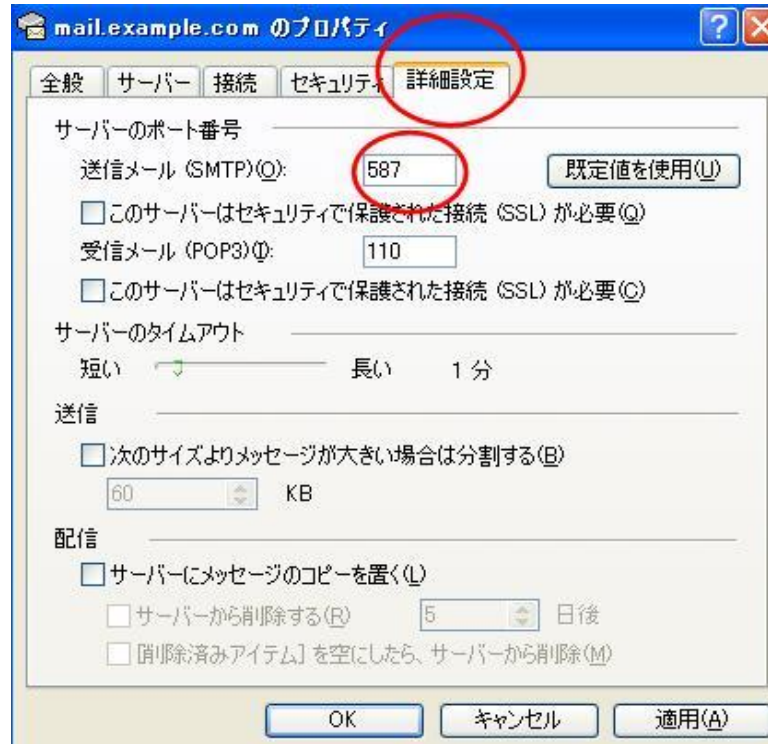
【5-2】

サーバタブをクリックし、送信メールサーバーの「このサーバーは認証が必要」にチェックを入れます。



【5-3】

詳細設定タブをクリックし、送信メール（SMTP）欄を587に変更してください。



上記まで設定が終わりましたら、最後に「適用（A）」→「OK」とクリックし、設定を保存します。

インターネットアカウントのウィンドウに戻りますので、「閉じる」をクリックして終了してください。

以上でOutlookExpressへの設定は完了です。
メールを送受信して動作を確認してください。

■ 設定したユーザのMicrosoftOutlookへの設定例

メールサーバの管理画面で作成したユーザを、MicrosoftOutlookへ設定する際の設定例を記載致します

【参考資料】 Microsoft Outlook への設定例

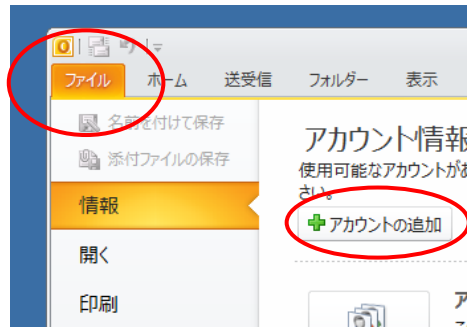
メールサーバの管理画面で作成したユーザを、MicrosoftOutlookに追加する例を紹介致します
なおこの例は、以下の内容でユーザを作成したものと仮定して設定しています。

ユーザ名	xxx_mail001
パスワード	password
電子メールエイリアス	tarou
メールアドレス	tarou@example.jp

また、弊社から送付させて頂きましたご利用のご案内には、下記のメールサーバが記載されているものと仮定しています。

メールサーバ 受信 (POP)	mail.example.jp
メールサーバ 送信 (SMTP)	mail.example.jp

【1】 MicrosoftOutlookを起動後、「ファイル」→「アカウントの追加」の順に選択します。



【2】 「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする (手動設定) (M)」を選択し、「次へ」をクリックします。

A screenshot of the '新しいアカウントの追加' (Add New Account) dialog box in Outlook. The '自動アカウント セットアップ' (Automatic Account Setup) section is selected. Under the '電子メール アカウント(A)' (Email Account) section, the '自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする (手動設定)(M)' (Manually configure settings for using email or other services) option is selected and circled in red. The '次へ(N) >' (Next) button is also circled in red. Other options include '電子メール アカウント(A)' and 'テキスト メッセージング (SMS)(X)'. The dialog box contains fields for Name (Y), Email Address (E), Password (P), and Password Confirmation (C).

【3】「新しいアカウントの追加」が表示されたら、必要な情報を入力後、「詳細設定」を選択します。

入力する各項目は次の通りです。

●ユーザー情報

名前 (Y) 任意の値を入力します。ここに入力した値が、送信先へ送信者として通知されます。

電子メールアドレス (E) 相手方に通知されるメールアドレスを設定します。サーバに設定されていないアドレスは、サーバ側で送信を拒否しますのでご注意ください。

●サーバ情報

アカウントの種類 (A) 通常は「POP3」を選択してください。

受信メールサーバ (I) 「ご利用のご案内」の受信メールサーバを設定してください。通常は、「mail.ドメイン名」です。

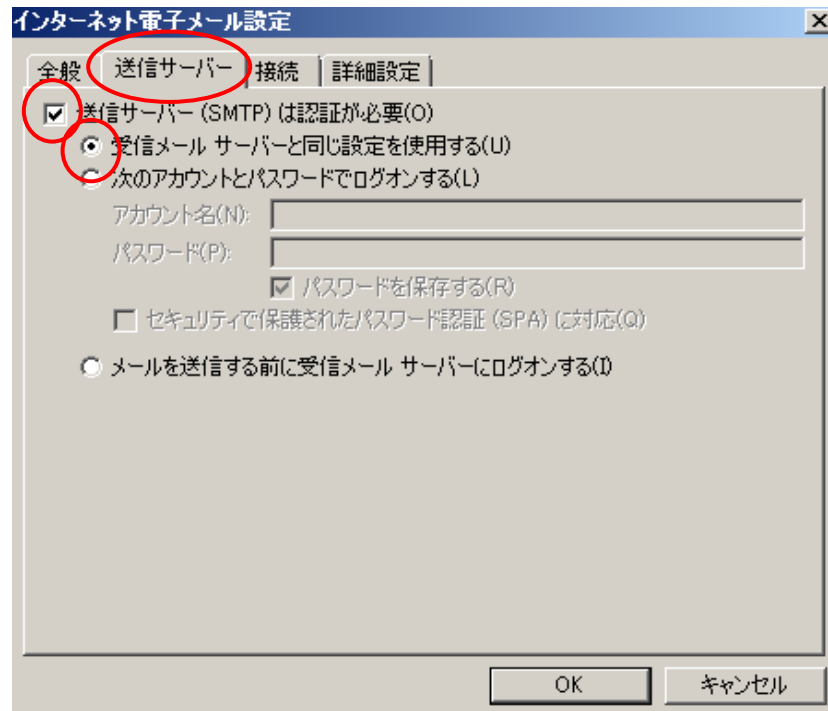
送信メールサーバ (SMTP) 「ご利用のご案内」の受信メールサーバを設定してください。通常は、「mail.ドメイン名」です。

●メールサーバーへのログオン情報

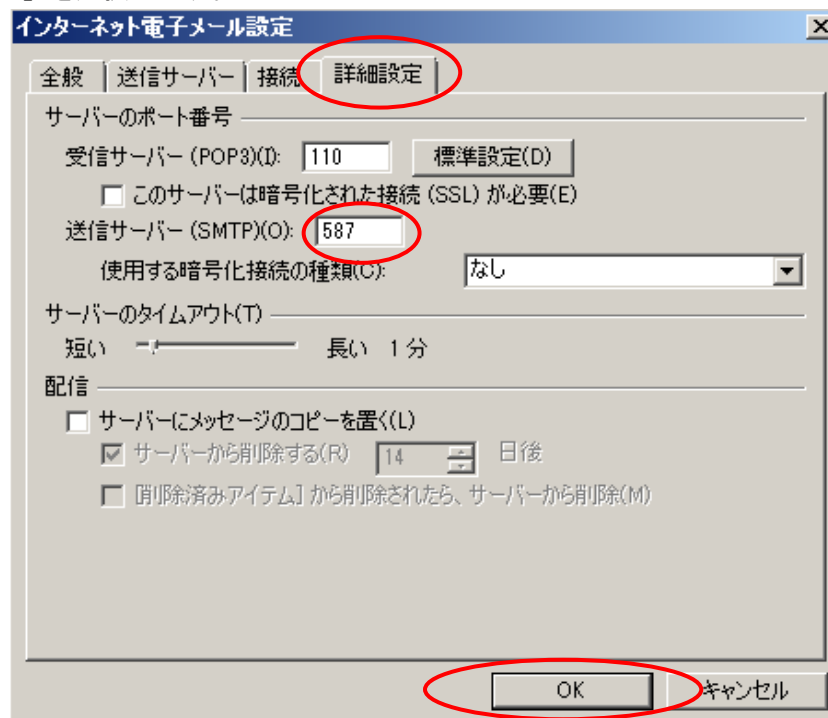
アカウント名 (U) 設定した「ユーザー名」を入力してください。例の場合 xxx_mail001 となります。

パスワード (P) 設定した「パスワード」を入力してください。例の場合 password となります。

- 【4】「インターネット電子メール設定」ウィンドウが表示されましたら「送信サーバ」タブを選択し、「送信サーバ(SMTP)は認証が必要(O)」「受信メールサーバと同じ設定を使用する(U)」を選択します。



- 【5】「詳細設定」タブをクリックし、「送信サーバ(SMTP)(O)」を「587」に設定した後、「OK」を選択します。



【6】前項でOKを選択すると、「新しいアカウントの追加」に戻りますので「次へ」を選択します。

新しいアカウントの追加

インターネット電子メール設定
電子メール アカウントを使用するには、以下の項目をすべて設定してください。

ユーザー情報
名前(N): 山田太郎
電子メール アドレス(E): tarou@example.jp

サーバー情報
アカウントの種類(A): POP3
受信メール サーバー(I): mail.example.jp
送信メール サーバー (SMTP)(O): mail.example.jp

メール サーバーへのログオン情報
アカウント名(U): xxx_mail001
パスワード(P): *****
 パスワードを保存する(R)

アカウント設定のテスト
この画面内に情報を入力したら、アカウントのテストを行うことをお勧めします。テストを実行するには [アカウント設定のテスト] をクリックします (ネットワークに接続されている必要があります)。
アカウント設定のテスト(T)
 [次へ] ボタンをクリックしたらアカウント設定をテストする(S)

新しいメッセージの配信先:
 新しい Outlook データファイル(W)
 既存の Outlook データファイル(X)

戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

【7】「テスト アカウント設定」が表示されます。 エラーが出た場合は、設定内容を再確認してください。

正常に完了したら「閉じる」を押して終了します。

テスト アカウント設定

すべてのテストが完了しました。 [閉じる] をクリックして続行してください。

中止(S)
閉じる(C)

タスク	エラー	状況
受信メール サーバー (POP3) へのログオン		完了
テスト電子メール メッセージの送信		完了

【8】「セットアップの完了が表示されたら、「完了」を押して終了です。

新しいアカウントの追加

セットアップの完了
アカウントのセットアップに必要な情報がすべて入力されました。
ウィザードを閉じるには、[完了] をクリックしてください。

別のアカウントの追加(A)...

戻る(B) **完了**

以上でMicrosoftOutlookへの設定は完了です。
メールを送受信して動作を確認してください。

■ 設定したユーザのOutlookへの設定例

メールサーバの管理画面で作成したユーザを、Outlookへ設定する際の設定例を記載致します。

【参考資料】 Outlook への設定例

メールサーバの管理画面で作成したユーザを、Outlookに追加する例を紹介致します
なおこの例は、以下の内容でユーザを作成したものと仮定して設定しています。

ユーザ名	aaa_mail0001
パスワード	password001
電子メールエイリアス	help_staff
メールアドレス	help_staff@example.com

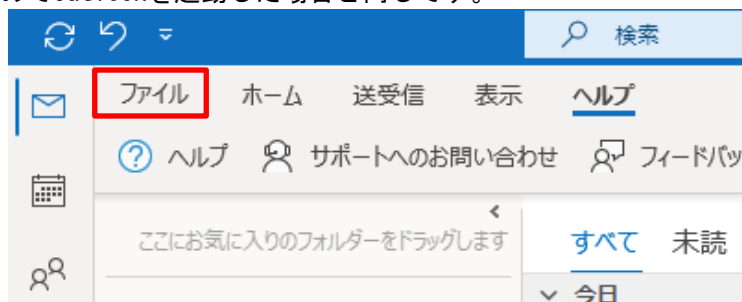
また、弊社から送付させて頂きましたご利用のご案内には、下記のメールサーバが記載されているものと仮定しています。

メールサーバ 受信 (POP)	mail.example.jp
メールサーバ 送信 (SMTP)	mail.example.jp

【1】 Outlookを起動します。



すでになんらかのメールアドレスが設定されている場合はOutlookが起動します。
その場合は「ファイル」→「アカウントの追加」と選択してください。
以降は初めてOutlookを起動した場合と同じです。



- 【2】初めてOutlookを起動した場合下記のように表示されます
メールアドレスを入力した後「詳細オプション」を選択します。



Outlook

メール アドレス

help_staff@example.com

詳細オプション▼

接続

アカウントがない場合 [開始するには、Outlook.com のメールアドレスを作成します。](#)

- 【3】「自分で自分のアカウントを手動で設定」が表示されたらチェックを入れ「接続」を選択します。



Outlook

メール アドレス

help_staff@example.com

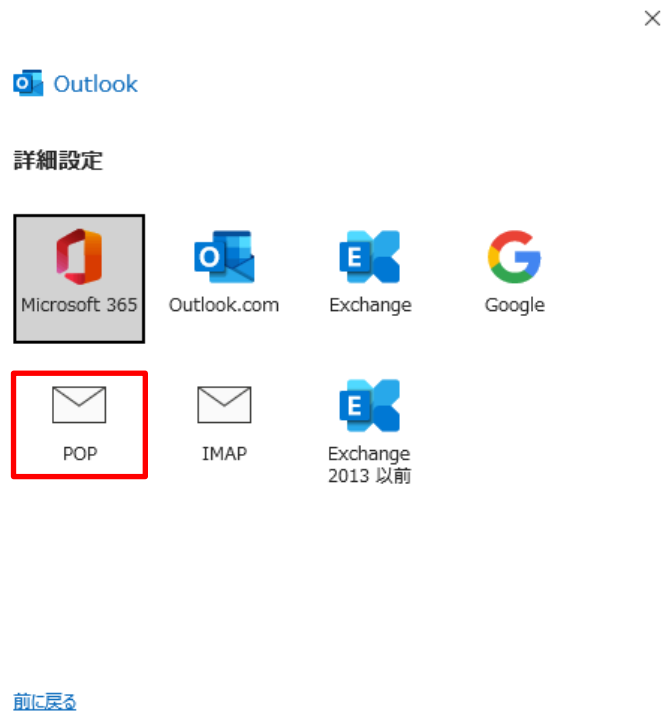
詳細オプション^

自分で自分のアカウントを手動で設定

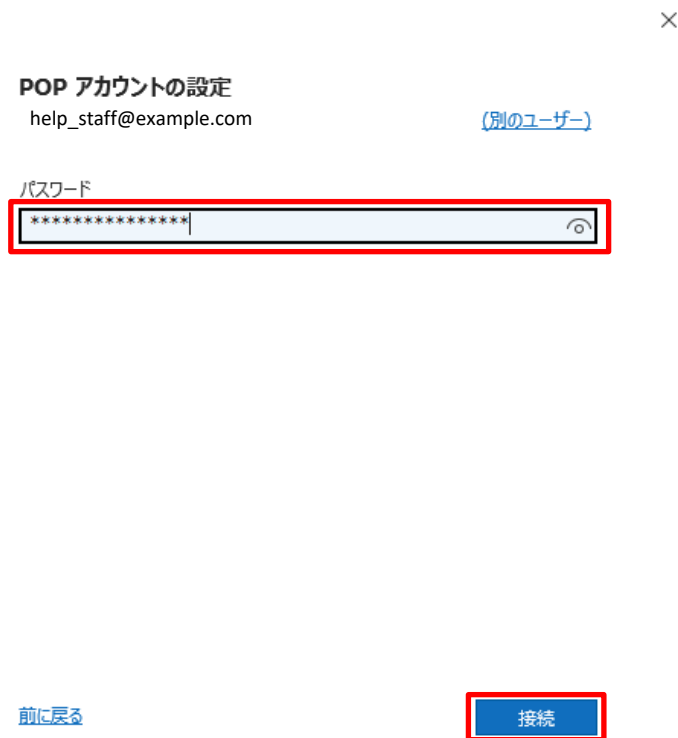
接続

アカウントがない場合 [開始するには、Outlook.com のメールアドレスを作成します。](#)

【4】 詳細設定画面が表示されますので「POP」を選択します。



【5】 パスワードの入力を求められますのでコントロールパネルで設定したパスワード（当例では「password001」）を入力し、接続を選択します。



- 【6】サーバーのアカウントとパスワードの入力を求められますので入力します。
この例では、ユーザー名（アカウント）は「aaa_mail0001」
パスワードは「password001」のためそのように変更が必要となります。
入力が終わったら「OK」を選択します。

インターネット電子メール - help_staff@example.com

次のサーバーのアカウント名とパスワードを入力してください。

サーバー mail.example.com

ユーザー名(U): help_staff@example.com

パスワード(P): *****

パスワードをパスワード一覧に保存する(S)

OK キャンセル

インターネット電子メール - help_staff@example.com

次のサーバーのアカウント名とパスワードを入力してください。

サーバー mail.example.com

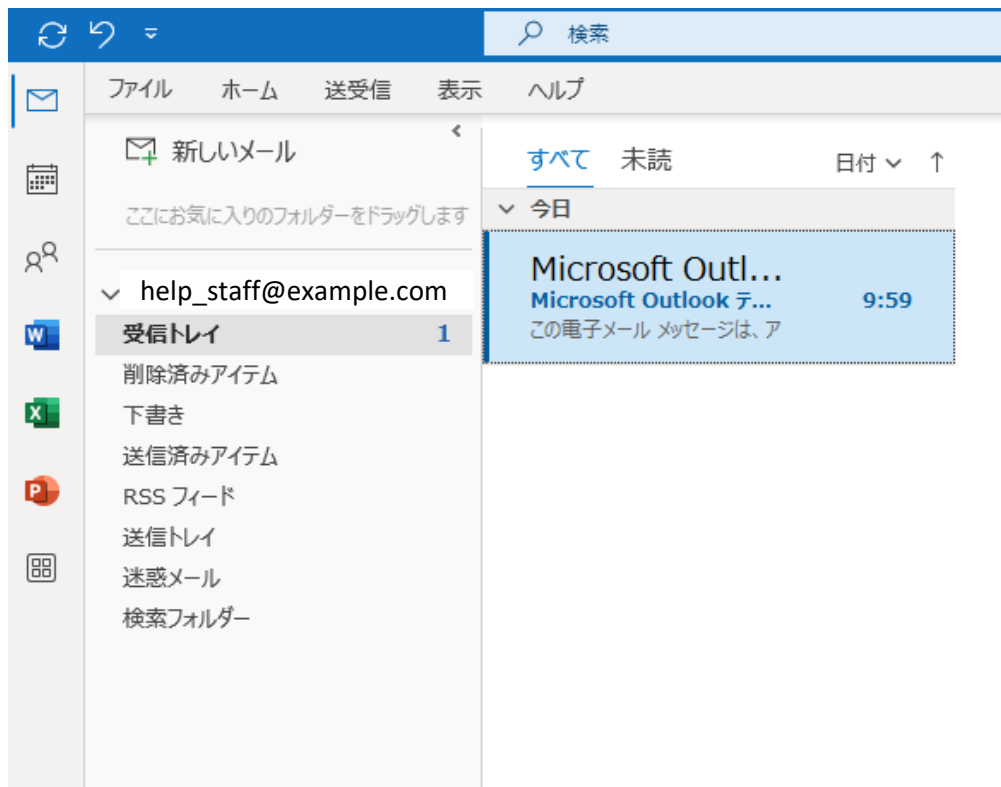
ユーザー名(U): aaa_mail0001

パスワード(P): password001

パスワードをパスワード一覧に保存する(S)

OK キャンセル

- 【7】入力した内容に誤りがなければ登録が完了します。
以上でOutlookへのメールアドレスの設定は完了です。



MEMO
